

第4回役員会議事要旨

日 時	場 所	欠 席 者	陪 席 者
平成18年5月25日（木）13時30分～	学長室	教育担当理事 経営担当理事	常勤監事

1. 議 題

(1) 平成19年度概算要求について

総務・財務担当理事から、議題資料1-1、1-2及び参考資料に基づき、5月11日開催の役員会において審議した平成19年度概算要求事項のうち、「特別教育研究経費」について、その後、教育研究評議会において意見聴取を行い、文部科学省との事前相談、及び部局内における検討状況等を踏まえて要求事項(案)を作成したので、審議願いたい旨説明があり、審議の結果、原案を了承した。

なお、5月11日開催の役員会において策定した「施設整備事業」要求事項(案)とともに平成19年度概算要求事項(案)として経営協議会に諮ることとした。

(2) 香川大学と中国海洋大学(中華人民共和国)との大学間学术交流協定及び法学部、大学院法学研究科と中国海洋大学法学院、研究生院法学研究科との学术交流実施細則の締結について

学術担当理事から、議題資料2-1及び2-2に基づき、学術国際交流を推進するため、中国海洋大学と大学間学术交流協定を締結し、また、本学法学部、大学院法学研究科と中国海洋大学法学院、研究生院法学研究科との学术交流実施細則を締結することについて審議願いたい旨説明があり、審議の結果、原案を承認した。

なお、本年8月を目途に先方大学を訪問し、協定及び実施細則を締結する予定である旨説明があった。

2. 報告事項

(1) 平成18年度春季中国・四国地区国立大学長会議について

学長から、報告資料1に基づき、5月12日に広島市において開催された標記会議について報告があった。

(2) 第39回四国国立大学協議会について

学長から、報告資料2に基づき、5月22日に四国中央市において開催された標記協議会について報告があった。

(3) 平成18年度プロジェクト研究の採択について

学術担当理事から、報告資料3に基づき、平成18年度プロジェクト研究に応募のあった16課題について書類審査並びに4月25日開催のプロジェクト研究採択評価会における評価をもとに、学長が前年度からの継続2課題、新規6課題を決定した旨報告があった。

なお、役員から、以下のとおり意見があった。

特色ある研究プロジェクトを重点的に支援・育成し、外部資金を活用した研究活動を促すという趣旨に照らし、継続として採択する際の期間及び選考基準について検討する必要がある。

軌道に乗った研究プロジェクトについては、外部資金を大学へ環流する方策を検討する必要がある。

(4) 平成18年3月卒業者就職状況等について

教育・学生支援部長から、報告資料4に基づき、平成18年3月卒業者の5月1日現在における就職状況(就職率、進路確定率、進路把握率)について報告があった。

(5) 科学研究費補助金等外部資金の獲得状況について

学術担当理事から、報告資料5に基づき、平成18年度における科学研究費補助金の採択状況及び共同研究費等の主な外部資金の獲得状況について報告があった。

なお、学長から、中国・四国地区の他大学について、学部ごとの採択件数等を多面的に調査し、専門分野別に本学の状況を分析するよう発言があった。

(6) 留学生会館の火災について

教育・学生支援部長から、5月13日(土)の深夜に本学留学生会館にて発生した火災について、建物修理、什器備品及び個人の被害を含めた被害額及び財産保険の保険金請求について保険会社と協議中である旨報告があった。

(7) 香川大学将来構想策定委員会について

学長から、報告資料6に基づき、標記委員会委員長の学長、委員長代理の連携・評価担当理事及び学長特別補佐において検討を重ね、同委員会の下に置く4つの専門部会の方向性及び検討課題(案)を作成したこと並びに各専門部会の構成について報告があった。

3. その他

(1) 香川大学マーク入り商品の開発について

総務・企画部長から、資料及び参考資料に基づき、香川大学生協同組合から、香川大学マーク(学章・校名ロゴ)が入った商品を開発し販売すること、及び香川大学のマスコットキャラクターの策定を検討してほしい旨の要望があったことについて報告があった。

検討の結果、役員会として生協に香川大学マーク(学章・校名ロゴ)入りの商品を8月のオープンキャンパスに間に合うよう開発、販売させることとし、マスコットキャラクターの策定については、大学づくり委員会において進めることとした。

(2) アドミッションポリシーについて

常勤監事から、本学ホームページに掲載している各学部のアドミッションポリシーについて、記述内容が多すぎ、受験生にとって分かりにくいので、その趣旨を分かり易くする等見直しが必要である旨指摘があり、教育担当理事及び連携・評価担当理事の下で早急に改善に向けた検討を行うこととした。

(3) 放射性物質の発見に係る文部科学省への報告について

学術担当理事から、2月27日に農学部の管理区域外で放射性物質が発見されたことに伴い、その後、学内における放射性物質の保管状況等を再調査し、5月19日に文部科学省に対して最終報告を行ったことの報告があった。

(4) 香川大学博物館について

学術担当理事から、香川大学博物館の組織作り及び標本管理の問題点等の検討状況について報告があり、引き続き調査研究を継続することとした。

閉会 15時20分